

令和2年度事業概況報告

I 活動の概況

令和2年の年頭初から発生した新型コロナウイルスの感染症の拡大は、法人会の事業、活動に多大な影響を及ぼしました。

コロナ禍の中、当法人会は感染防止対策を図りながら、公益法人として、活動の原点である「税」に関し、税制改正要望や普及啓発活動に努めました。

また、令和元年10月1日に上げられた消費税の適正な申告と期限内納付の推進に向け啓発活動に積極的に取り組むとともに、税率引き上げ後の消費税の申告事務の研修会を実施しました。

このほか、魚津税務署や魚津間税会、魚津税務連絡協議会等と連携して研修活動やマイナンバーカードの普及を目的として、制度が目指している「便利な暮らし、より良い社会」を実現するため、制度の意義等の周知、啓発活動を行いました。

そのほか、当法人会のもう一つの柱である地域社会への貢献を目的とする事業を実施しました。

青年部では、次代を担う子どもたちに部会員の協力で租税教室を開催し、法人会の基本であります税の普及啓発に努めました。また、女性部では、税に関する絵はがきコンクールを実施し、税の大切さを広く普及啓発する活動を展開しました。

II 主な事業活動

1. 公益目的事業について

(1) 税制改正への提言活動

令和3年度税制改正の提言に向け、全法連からのアンケートを当法人会の税制委員等の役員30先にご協力をいただき実施いたしました。

全法連では、アンケート結果を基にして提言を取りまとめ、9月開催の全法連理事会において「令和3年度税制改正提言」を決議しました。全法連では、この提言を受け国及び関係省庁並びに各政党に要望活動を展開しました。

当法人会では、正副会長により地元選出国會議員及び管内市町村を代表して魚津市長並びに同市議會議長に要望実現に向け支援要請を行いました。

令和2年度税制改正では、持続的な経済成長の実現に向け、オープンイノベーションの促進及び投資や賃上げを促すための税制上の措置が講じられるとともに、連結納税制度の抜本的な見直しが行われました。

法人課税では、地域活性化の中心的役割を担う中小企業の設備投資の促進や経済活動を支援する観点から、適用要件が見直された上で、少額減価償却資産の取得価格の損金算入特例措置や、交際費課税の特例措置の適用期限が延長されました。また、事業会社から一定のベンチャー企業に対する出資について所得控除できる制度が創設されたほか、大企業の投資や賃上げを促進するための措置が講じられました。その他、地方創生の充実・強化の観点から地方拠点強化税制や企業版ふるさと納税の見直し等が行われました。

改めまして税制改正要望にご尽力いただきました関係機関並びにアンケート調査にご協力をいただきました税制委員及び役員、会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

(2) 社会貢献・税の啓発活動の充実

将来の地域社会を担う子どもたちの心身の健全な発達を支援するため、公立図書館に図書購入費の一部を助成すること及び小学生に税に関する各種の教室や広報活動を通じて、広く税の大切

さを深める活動を行いました。

①「児童向け図書の購入費用助成」事業

- ・対象団体：管内8市町村
- ・交付団体：2市（魚津市、滑川市）

②「租税教育」事業

- ・管内小学校：13校で計16回 当会青年部会員が講師となり開催いたしました。
- ・受講児童総数： 580名

③「第11回税に関する絵はがきコンクール」募集事業

- ・管内小学校42校：配布数3,259枚
- ・絵はがき応募者数：930名
- ・絵はがき入選者：10名には各々図書カード贈呈

絵はがきコンクールの入選作品など40点を魚津税務署の協力で、確定申告期間中5階待合室に掲示させていただきました。作品のレベルが年々向上していると実感しています。

④新型コロナウイルス感染症対策として寄附金を贈呈

- ・魚津法人会8市町村の総合病院、障害者施設、老人ホームに各10万円を寄附

(3) 研修活動・講演会活動の充実

会員企業等に各種自己啓発支援事業として、特に税法・税務は法人会事業の根幹とし、講師に税務当局担当官等のご支援のもと研修内容の充実を図りました。また、会員に必要と思われる税制以外の労働問題等について、関係機関のご協力を得て実施しました。

研修会の実施に当たり、広く市民にも開放していることから新聞やホームページにも掲載してPRに努めました。その他、実施状況は以下のとおりです。

① 定例研修会	8回	542名	
② 特別講演会	1回	72名	
③ 支部研修会	4回	21名	(支部役員会出席者数)
④ 青年・女性部会研修会	2回	41名	
⑤ 新設法人説明会	1回	7名	
⑥ 決算期別研修会	2回	111名	
⑦ 年末調整説明会	1回	27名	
計	19回	821名	
	(前年度31回)	(前年度1,992名)	

なお、上記中で一般市民の参加者は主として「特別講演会」、その他定例研修会では、消費税に関するものに参加者がありました。

上記①の定例研修会参加者には経営参考資料として、「税制改正のあらまし」「会社取引をめぐる税務Q&A」「便利でわかりやすい会社税務のてびき」「税金だけではない事業承継の進め方」「消費税の仕入税額控除とインボイスQ&A」「労務管理の基礎知識」「職場のメンタルヘルスQ&A」などの冊子を無料で配付いたしました。

(4) 広報活動の充実

ホームページ、会報誌を通じて税の啓発に資する情報の提供、また、租税教育事業、助成金事業について、地域社会貢献活動面から地方紙、TV局及び、地域ケーブルTV局等の協力を得て法人会のイメージアップ、知名度向上に寄与できたものと思っております。

① 会報誌「明日香」は、税法について紹介するなど紙面を一層充実させました。

なお、全法連発行の「ほうじん」も同時期発行物を同封して送付しており、相乗効果を図りました（公共及び友誼団体窓口等にも同様配布中）。

② 魚津法人会ホームページは常時更新に努め、各種広報と共に情報提供や情報公開を逐次行いました。

2. 組織・財政基盤の強化について

(1) 組織の強化充実

会員加入率45.0%を目標として、特に後期に強化期間を設定し、各支部共々増強活動を推進致しました。しかしながら、保険3社のご尽力等にもかかわらず、昨年に続き目標値を下回り、下記のとおり加入率が41%を割り込むことになりました。

会 員 移 動 状 況

項 目		会 員 数	加 入 率	
令和 2 年 3 月 末		1,303 社	42.3%	
2 年 度 中 移 動	入 会	11 社		
	退 会	43 社		
	内 訳	脱会		13 社
		解散等		2 社
		転出・合併等		20 社
		休業		1 社
		喪失		7 社
令和 3 年 3 月 末		1,271 社	40.9%	

(2) 青年部会・女性部会の充実

① 青年部会

活動の中心である「租税教育活動」事業が前年に引き続き、管内小学校42校のうち13校で16回の租税教室を開講し学校からも好評でした。

② 女性部会

女性部会のあり方指針に則り、従来より継続中の下記諸事業につき、積極的に進化・発展させ拡充に努めました。

- ・地域社会貢献活動・・・管内小学校（5～6年生）児童を対象に「税の絵はがきコンクール」を実施し、「税」の啓発活動の拡充を図りました。
- ・先進地視察研修会・・・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。
- ・会員研修会・・・「税に関する絵はがきコンクール」の作品向上を目的とし、「租

税教育」をテーマに女性部会租税教室を開催しました。。

・各種「エコ」活動・・・「いちごプロジェクト」・「とやまエコライフ・アクト10」活動の推進を図りました。

(3) 福利厚生事業について

会員各位のご理解により、福利厚生制度保険の受託3社と連携して重点商品であります「大型保障制度」、「ビジネスガード」、「がん保険」等を中心に制度の普及啓発活動に努めました。

また、福利厚生制度50周年に向けた「想いをつないで50年『会員企業を守りたい』キャンペーン」を推進しました。

その他、未会員の加入促進にも努めました。下記の表は期中の各保険金の支払い明細です。

大型保障制度保険金・給付金支払状況

(令和2年4月 ～ 令和2年12月末)

区 分	件 数	金 額	備 考
死亡保険金 (大同)	2 件	2,000 万円	
手術給付金 (")	27 件	360 万円	
入院・通院給付金 (")	44 件	409 万円	
後遺障害保険金 (A I G)	1 件	375 万円	
その他 (")	59 件	335 万円	
合 計	133 件	3,479 万円	

大同生命保険株式会社
A I G損害保険株式会社

「がん保険制度」支払状況

(令和2年4月 ～ 令和3年3月)

区 分	金 額	備 考
診 断 給 付 金	50 万円	
入 院 給 付 金	74 万円	
死 亡 保 険 金	0 万円	
そ の 他	336 万円	
合 計	410 万円	

アフラック生命保険株式会社